

HIV 薬剤耐性ウイルスナレッジブック完成！研究成果発表最終セミナー実施
(2024 年 3 月 1 日)

5年間に渡り実施されたきた本プロジェクトもいよいよ大詰め。プロジェクトの成果を総括し、発表する時期になってきました。3月1日、本プロジェクトで編纂した「HIV 薬剤耐性ウイルス Knowledge Book(以下「ナレッジブック」)完成を記念し、その内容の関係者への普及のため、セミナーを行いました。本プロジェクトでは、HIV 治療成功率を高く維持するためには、服薬アドヒアランス支援と薬剤耐性ウイルスのモニタリング、そして薬剤耐性が出現した際の臨床現場での対応が非常に重要であるという問題意識のもと、各種研究活動や研修活動を行ってきました。研究成果と研修内容など、日本とベトナムの専門家がともに議論して築いた知見を、今回ナレッジブックという形で冊子にまとめることができました。

冊子は 1,000 部発行、全国の HIV/エイズ治療施設などに配布され、ベトナム語・電子版は、既にカウンターパートである**ベトナム国立熱帯病病院(NHTD)ウェブサイト**で公開しているのに加え、ベトナム保健省 HIV/エイズ予防局(VAAC)のウェブサイトに掲載される予定です。ベトナムの医療従事者が必要な知識と実践的なスキルを習得するのに役立つことを願って作られたものです。また、ベトナムにおいて HIV 薬剤耐性ウイルスに関する対応ガイドラインはまだ作られておらず、今後このナレッジブックがその基礎となることが期待されています。またこのナレッジブックを今後の各種研修に活かしていくという強い方向性が、VAAC 代表者の発表者からも示されました。



具体的な臨床事例への対応方法について考えるため、ナレッジブックを参照していきます。



完成したナレッジブックと共に、参加者一同で記念撮影

また同日午後にはプロジェクトにおいて実施した各種研究活動の成果が発表され、ベトナム側政府関係者、そして国際ドナーなど多くの機関にその成果が共有されました。午前・午後を通じ、VAAC の代表者や、NHTD ファム・ゴック・タック院長他多くのベトナム側関係者、更に日本側では在



JICA-SATREPS プロジェクト
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to bedside system”構築と
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



ベトナム日本国大使館佐々木祥平等書記官や多くの JICA 関係者が参加しました。ベトナム保健省、NHTD からもプロジェクト成果について高い評価を得ることができました。

今回セミナーでの意見交換を踏まえて、プロジェクトはいよいよ最終段階。研究成果を踏まえた政策提言を完成させ、プロジェクト活動の効果がより長く続いて行くように工夫を凝らし、最後まで活動を実施していきます。